## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2391000185			
法人名	(株)安里			
事業所名	東海橋苑グループホーム東起 2階	t i		
所在地	名古屋市中川区東起町4-154-1			
自己評価作成日	平成27.12月	評価結果市町村受理日	平成28年4月13日	

# ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	福祉総合研究所(株)		
所在地	名古屋市東区百人町26		
訪問調査日	平成28年2月16日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1階に天然温泉ヒノキ風呂があります。

港区に介護付き有料老人ホーム、小規模多機能居宅介護事業所が1階にあり、連携を取っています。 まだ5年目の施設ですが、「期待値を上回る満足度の提供」を理念に、職員一同日々勤めております。 職員のスキルアップのため外部研修に参加したり、内部研修を開催しております。

ケアセラピストによるハンドケア、フットケアを行っております。

環境・感染、事故対策、レクリエーションの3つの委員会を設け、良い施設にしていこうと月に1回話し合いをしております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

タンクローリーで榊原温泉から運ばれてきた湯で、利用者が入浴を楽しむことができる。今年度から食事も手作りを増やし、摂取量が増え完食に近く食べられるようになった利用者もいる。他に馴染みの人との関係を継続するために年賀状を郵送することを新たに開始している。職員からの意見で請求書に利用者の写真を入れてはどうかと提案があり、1月から同封することで家族からも喜ばれている。今まで行なってきている地域との交流も継続し、敬老の集いや学区の防災訓練に参加したり、落語やマジシャン、歌、傾聴ボランティアが来訪している。また、専門学校生の実習生の受入、秋祭りに地域住民の親子が参加している。管理者が「ここに入って良かったなと思ってもらえるような介護・ケアをすること」を常に意識しながら日々利用者に接している。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	↓該닄	取り組みの成果 当するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の ○ 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
)	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1 ほぼ仝ての利田考が				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		に基づく運営			
	,	〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	入社時に理念を説明している。理念を元に 各ユニットで年に2回目標掲げ取り組んでい る。	ホーム独自の理念は「利用者様、職員にとってより良い環境にする」とし、職員は半年に1回理念に基づいた個人目標を立てて、日々実践することで意識づけている。2ヶ月に1回あるリーダー、看護師、ケアマネージャーの会議においても確認を行っている。	
2	, ,	また。 流している	町内会に入会し、地域の行事等は入居者様 と一緒に参加したりしている。	ホームの秋祭りに近所の子どもたちが来たり、歌やフラダンスのボランティアの来訪、地域の敬老の集いや学区の防災訓練への参加をして交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	認知症の方の理解や支援については、推進 会議にて伝えてはいるが、推進会議に参加 されていない地域の人々には、あまり活かさ れてはいない。		
4		いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	2カ月に1回行っており、その中での意見を 参考にし、取り入れるよう努めている。	年6回開催され、いきいき支援センター職員、民生委員、町内会長、家族、利用者が参加しており、会議で地域とホームのイベント等の情報交換を行っている。会議の議事録を職員は各階に配って回覧し、家族には玄関に置くことで情報を共有している。	
5	. ,	えなから、肠刀関係を柔くように取り組んでいる	密には連絡はとってはいないが、疑問等あれば電話をして尋ねている。取り組みは特に伝えてはいない。	区役所へ認定調査や生活保護の関連で出向いたり、書類を郵送したりして直ぐに対応される関係ができている。運営推進会議議事録を市役所健康福祉課にFAXを送って内容を報告している。	
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を設け、取り組んでいる。内部研修も 行っている。	2月に身体拘束について内部研修が行われている。拘束を発見した時には管理者が職員に説明して無くすようにしている。拘束が必要な場合には家族と話し合いをした上で行っている。玄関の出入り口は、事故のリスクを考えた上で施錠している。	

白	外		自己評価	外部評価	<del></del>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	************************************
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については学ぶ機会は設けてはいないが、ニュース等で虐待の事をTVで取り上げられた場合はその都度注意を促している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	成年後見人については、管理者が外部研修 に行き学んだ。特に対象になる方が見えな い為支援はしていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約時に説明し、疑問等も尋ね、理解し納 得して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	推進会議や担当者会議で行い、意見を伺っ ている。反映できる部分は反映するようにし ている。	毎月ホーム便りに家族へコメントを添えて郵送している。家族から出た意見や希望はミーティングなどで話し合い、反映できるように取り組んでいる。	
11	, ,	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議や個人面談を行い、反映でき る部分は反映するようにしている。	職員はリーダーに意見や提案を伝え、ミーティングで話し合っている。個々の面談は秋に行い、意見を聞く機会を設けている。今年度、請求書と共に個々の利用者の写真を同封することの提案を職員から得て、反映している。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	半年に1回目標を立てて業務に取り組んで 頂いたり、個人面談を行い意見を聞いてい る。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	内部研修の開催や外部研修をここに会った 内容の研修に参加してもらっている。		

自	外	-= -	自己評価	外部評価	ш
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	積極的に外部研修や懇親会に参加し、横の つながりを大事にしている。		
Ⅱ.5	と心身	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時や担当者会議でご本人様からご要望や不安な事等お伺いし、ケアプランに反映させ、安心する関係づくりに努めている。 普段も生活の中で声掛け、傾聴している。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	契約時や面会時、担当者会議等で不安やご 要望をお伺いし、関係づくりに努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	介護保険のサービスに関しては、在宅の サービスが良いと思えば、在宅サービスを すすめたり、施設内のサービスであれば現 状を把握した上で、自立に向けてのケア サービスを提供している。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを図りながら関係を築ける ように努力をしている。ケアをさせて頂く気持 ちを持つようにしている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	面会時等でコミュニケーションを図りながら 関係を築けるように努力をしている。		

白	外		自己評価	外部評価	<del></del>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(-)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前使っていたものを居室に置いたりはしているが、馴染みの人や場所に対してのケアはあまり出来ていない。面会に来られたり、		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	孤立しないように、コミュニケーションを図ったりと努めている。しかし、一人が好きな方に関しては、自由にして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時に何かあればいつでも相談して下さいと声は掛けさせていただいている。退去されても相談の電話があったため対応させてもらったこともある		
Ш.	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23	(-)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	本人様に意向を伺い、なるべく本人様の意 向に応じたケアを心がけ、ケアプランに反映 させている。	職員と利用者が一対一になる風呂や居室での傾聴、外出支援時を大切にすることで、思いを聞き取ったり汲み取ったりしている。 喫茶店での様子から読書が趣味だとわかった例もある。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にフェイスシートを作成し、職員に閲覧できるようにしている。ご家族様にも入居者様の昔のこと等お伺いしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	毎日観察し、記録や申し送り等で情報を共 有するようにしている。		

白	外		自己評価	外部評価	<del>Ti</del>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	 次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	約4ヶ月に1回モニタリングとご本人様、ご家族様、介護職員、管理者、計画作成担当者で担当者会議を行い、プランを作成している。	月に一度のミーティングや、申し送りで上がる 職員からの事前情報をもとに4ヶ月ごとにモ ニタリングをし、担当者会議で計画の見直し を行っている。会議には家族も参加すること がある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のケース記録に記載したり、申し送り等 で情報共有し、プランに活かすようにしてい る。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他の介護サービスを使うと実費になるため おすすめはしないが、案としては出すように している。地域のボランティア等も必要があ れば探すようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握はまだまだ不十分だと思われる。しかし、地域行事の参加、回想法やレクのボランティアの活用はしている。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	エカ区とほぼし、本本的にはエカ区に砂く   頂いているが、差切される病院がある場合	現在は利用者は皆協力医を主治医としている。他科の受診は家族または職員が付き添い、主治医から紹介状を出してもらったり、事業所での様子を記したメモや口頭で伝えている。協力医は24時間連絡可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	その都度相談している。看護師が休日の場合は電話でも相談する。		

自	外		自己評価	外部評価	<b>T</b>
自己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めている。あるいは、 そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。	必ずサマリーを提供し、定期的にお見舞いに行っている。病院へ行った際に本人様や 看護師に状態を伺っているが、個人情報が 厳しい為、看護師からは教えて頂けないこと も多い。退院時にサマリーは頂ける。		
33	. ,	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	契約時に重度化した場合について説明している。担当者会議でも話し合ったり説明したりはしているが、地域との連携はどうとってよいかわからない。	契約時に重度化した場合や看取りについて家族に説明している。職員は内部研修で看取り対応を学んでいる。今年度も2度の看取りがあり、事業所と家族との間で話し合いをしながら行った。職員の間でも事前、事後に話し合いを重ね、よりよい支援について考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	全ての職員とまではいかないが、年に1回内 部研修を行って参加してもらっている。緊急 時マニュアルを作成し、各詰所に設置。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけると ともに、地域との協力体制を築いている		年に二度、夜間想定で避難訓練を行っている。消防署の指導を受け、火災での避難誘導について確認をした。当日参加できなかった職員については、避難マニュアルを書き写しレポートを出している。備蓄を来年度は増やすことにしている。	
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
		〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	まだまだ不十分なところはあるが、気を付け るよう努めている。	接遇研修を重ねることで、職員は馴れ馴れし すぎないよう言葉に注意しながら、まず声掛 けから支援に移るよう気をつけている。居室 のドアや、トイレ誘導にも気をつけている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	全ての希望をかなえる事は出来ていないが、なるべく本人様に伺い意向に沿えるようにしている。		

自	外		自己評価	外部評価	ш
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく本人様のペースに合わせるようにしているが、法律上の規定人数では難しいこともある。急な欠勤、退職で職員の体制が不十分な時は出来ないこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	介助が必要な方は、本人様に着る服を伺う ようにしている。おしゃれの日を作って、お化 粧して外出したりしている。		
40	, ,	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	お願いしている。1刀月に1回は食事レクリ	調理済みの業者宅配のみだったが、手作り 食事レクの利用者の様子などから、材料宅 配で事業所で調理する日も組み合わせるよ うにし、皆の食事量が増えた。利用者は片付 けなどを手伝っている。また、喫茶店やレスト ラン利用の日もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	食事量のチェックを行い、少ない方は理由をお伺いし、食べやすく切ったり、捕食など嗜好品の提供をしている。人によっては主治医より栄養剤を処方して頂いている。水分は1日1リットルは摂取していただくように、促している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	毎食後口腔ケアの声掛け、準備や介助を 行っているが、拒否される方もみえる。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	基本的には日中はトイレでの排泄を心がけている。ほとんどの方が自己にてトイレへ行ったり、定時にトイレ誘導をしているが夜間はオムツの方もみえる。トイレで排泄はしているが、パット内に失禁している方もみえる。排泄パターンは記録に残し把握している。	なるべくトイレでの排泄や利用者の尿便意を 大切にしながらも日中は2時間以上あけない よう、トイレ誘導や声掛けをしている。夜間は 睡眠を妨げないようにしているが、2時間ごと にチェックをしている。	

自	外		自己評価	外部評価	<b></b>
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	毎朝の体操に参加して頂いたり、毎朝ヤクルトを飲んで頂いたり、水分をなるべく摂取して頂くように促している。便秘の際は主治医や看護師とも相談し下剤を服用している。		
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望の意思表示ができる方に関しては、希望に沿った入浴をして頂いている。その他の方に関しては、施設側で時間を決めて入浴して頂いている。	建物の1F、小規模多機能施設に温泉を利用した檜風呂があり、週に一度はそこで、その他の日はユニット内の風呂で入浴ができる。 拒否のある人は声掛けや職員、順番を変え、気持ちよく入ってもらえるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支 援している	眠たい方や体調不良の方等、その都度休息 して頂いている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の趣味を取り入れたレクや毎月行事 を企画していて、個人の外食レクや喫茶店 レク等も行っているが、まだまだ不十分では あると思う。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人員の関係もあり外出の支援は難しい時が多い。時々散歩に出掛けたり、喫茶店や外食、買い物へは行ったりしている。ご家族様が外へお連れして下さることはよくある。秋には遠足へ行った。	天気のよい日には、近くの公園まで散歩にでかけている。靴や小物の買い物、喫茶店や外食にでかけることもある。お茶やお菓子をもって花見に行ったり、今年度は「ランの館」へ遠足にでかけ、レストランで食事を楽しんだ。	

自	外		自己評価	外部評価	ш
自己	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つ大切は理解している。しかし、貴重品は、トラブルにもなりかねるので、個人では持たない様ご家族様へ説明している。施設側でお金を預ることができるので預かっている入居者様に関しては一緒に買い物へ行ったりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の希望がほとんどないが、ある場合は支援していく。今年度は入居者様からご家族に年賀状を出す予定。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく清潔かつ安全で使いやすいよう環境チェックや清掃を行っているが不十分なところもある。掲示板等に季節に合った掲示物を作成し、掲示している。	日当たりのよい居間には、利用者が作った大きな塗り絵や、行事の写真、献立などが飾られている。テレビの前のソファや食卓でそれぞれ思い思いにくつろいだり、買物袋や洗濯物をたたむなどの手伝いをしている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	ソファーと机は用意してあるが、一人一人に 居場所があるか問われれば、難しい。共有 スペース間で独りになれるような広いスペー スはない。		
54	,	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	危険な物や貴重品以外は、持ってきて頂いても結構だと説明している。仏壇や今まで使っていた椅子など持ってきている方みえる。	箪笥やテレビなどそれぞれ馴染んだものを持ち込んでいる。仏壇、位牌を置いたり、家族写真や自分の作ったぬいぐるみを飾ったりしている人やソファを置いたりして、居室を自分の家の部屋のようにしつらえている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すりや引き戸などなるべく自分で行えるような設備は整えてある。		